

社会福祉法人
 八千代市身体障害者福祉会 会報
 発行責任者：磯崎 節 男
 編集：阿部 裕 一
 事務所：八千代市米本 2429-10
 TEL 047-488-8813
 FAX 047-488-8384
 印刷所：はばたき職業センター
<http://hukushikai.com>

一九七七年十二月日第三種郵便物認可
 二〇二三年七月十六日発行（毎月十八日発行）二・三・五・六・七の日発行
 SSKP 通巻八二七七七号

はばたき

福祉会・
 はばたき
 職業センター
 5つの誓い

1. 私たちは、一人はみんなのために、みんなはひとりのために働きます。（支え合いと連帯）
2. 私たちは、どのような環境のもとでも、その人らしい生き方を認め、可能性を信じ、その能力を育む努力を続けます。（生きがいと可能性の追及）
3. 私たちは、いつでもどこでも誰もが安心して暮らせる地域社会をめざします。（心豊かな社会の創造）
4. 私たちは、社会の一員として自ら考え、行動し、前向きに生きる開拓者をめざします。（開拓者としての心得）
5. 私たちは、生命の尊さ・個人の幸せを求めつつ、社会に貢献することをめざします。（幸福の追求と社会貢献）



高津中学校で行われた福祉教育の場面……生徒一人ひとり真剣に講師の話聞いていました。（詳細は三面に掲載）

悠々堅歩

“木材彫刻で仏像を彫る”

仏像サークル

会長 子安昌教

木材を刻み御仏のお姿を掘り出す事に至福の時を感じ、現われ出たお姿に自身と人々の心の平安を祈る私達は、現在会員十六名の仏像彫刻サークルです。毎月第一・三木曜日の午後一時から三時迄、八千代市福祉センター五階の作業室に集い、仏像彫刻作業に勤しんでいます。同時に会員相互の親睦を図る事も大切にしています。

私とこの仏像サークルとの出会いは、もう随分以前になりますが八千代市の福祉センター祭りでした。当時勤めていた会社を定年退職し、サンデー毎日の日々を何をするあてもなく過ごしていた私がふと立ち寄った福祉センター祭りの展示室で眼にした白木の小さな仏像達、衝撃の出会いでした。これだ！と思いつぐさま入会し夢中になつて彫りまくる日々の中で、ある先輩に教えられました。仏像彫刻というのはね、君が木を彫って形を造るいわゆる造形ではないのだよ、仏様はその木の中に既にいらつしゃる、君は塵を払って仏様をそのままお迎えすれば良いのだよ、と言つ事でした。成程、私達の仏像彫刻とは自身の感ずるままの仏様を木の中からお迎えする事。誰もが運慶のような大仏師にはなれないけれど、誰でも自分の想う御仏を、塵を払ってお迎えする事なら出来る。納得の瞬間でした。興味のある方はぜひ見学にお出下さい。現在会員募集中です。誰でも出来ます、未経験の方大歓迎です。

“中途失聴者と難聴者のつどい”開催……

5月号でお伝えした障害種別のつどい立ち上げの第一弾として、『中途失聴者・難聴者のつどい』を開催します。同じような悩みや不安などを抱えている中途失聴者や難聴者の皆さん、またご家族の皆さんなどと一緒に新たな交流の場として活動していきましょう！

◎ このようなことで困った、不安がある方々、集まって……

外見からでは分かりづらい、私たちの障害は交流などの場で困り、時に差別や偏見などを受ける場合もあります。相手は決して差別や偏見などからの言葉や態度ではないと信じていますが、それを受けた私たちはショックや落ち込み時があります。

- ・最近、更に聞こえなくなり相手の言葉が聞き取りづらく、会話がスルル……。
- ・病院で名前を呼ばれても聞こえず、診療が後回しになってしまふ……。
- ・手続きを行うにも、相手の言葉が入りづらい、分からない……。
- ・同じような悩みなどがある皆さんとおしゃべりたい……。
- ・同居している家族として、どう接していいのかわからない……。
- ・等々、ひとりで悩まず、愚痴をこぼしたり、不安の解消に向けて、話しましょう。

◎ 現在の活動は……

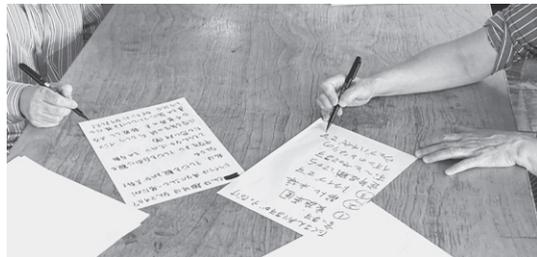
2ヶ月に一度、筆談会を開催しています。筆談とは自分の話したいことを文字にして相手に伝える方法です。

◎ これからの活動目標……

これから活動を進める中では、このような事を考えています……。

◇ 私たちの障害をもっともつと皆に理解していただきたい……。

◇ 私たちの障害を広く啓発していき差別や偏見をなくしたい……。



◇ 私たち仲間同士で、活発に活動していきたい……。

◇ 大規模な災害が起きた時、私たちに對する支援内容を要望していきたい……。

など生活の中での困りごとや不安を出し合いながら、より良い生活を目指すための活動を行います……。

◎ 9月の活動……
9月1日(日)の広報やちよで広く啓発します。是非、ご参加ください。
日時 9月25日(月) 13時半～
場所 八千代市福祉センター
4階 研修室

◎ 制度をご利用ください……

各種の手続きや申請などで、第三者とのコミュニケーションに支援が必要であれば「八千代市手話通訳者等派遣事業」をご活用ください。要約筆記者の派遣を行います。利用にあたっては事前の申込が必要となります。利用したい日にちや場所、内容などをFAXまたはメールで依頼いただければ調整の上、返信します。



◎ 今後の活動……

今後については、2ヶ月に一度定期的に活動を行う予定です。活動開催の案内は、本紙「はばたき」に掲載しますのでお見逃しなく……。また本紙の購読を希望される方はご連絡ください。
※障害者手帳を所持していれば無料で郵送します。

◎ 問い合わせ・連絡先

(社福) 八千代市身体障害者福祉会

きらめき支援センター

TEL/FAX 047-485-8822

E-MAIL hkusikai.setti@kindoon.jp

月曜日～金曜日 9時～17時

はばたき 歳時記

* はばたき職業センターのご案内

「はばたき職業センター」福祉施設一は知っているけど、実際にどんな活動をしているか、わからない人も多いのでは……。

「はばたき職業センター」は元々「身体障害者通所授産施設」という施設でした。現在は ①「就労継続支援B型事業」 ②「生活介護事業」 ③「定着支援事業」の3つの事業を展開しています。

①は障害があるために一般就労が難しい方が施設利用することにより、必要とされる支援を継続的に受けながら作業(仕事)を通して社会参加と働く権利の実現・向上を目標とする、また、あらゆる意味での自立を目指す、という事業です。具体的には印刷・園芸・受注生産作業(軽作業)を中心に取り組んでいます。

②は「働く」というよりも「創作活動」や「交流活動」を中心とした事業です。一部、B型と同じような軽作業に取り組んでいますが、比較的納期等にはばたき作業のため利用者個々のペースを優先する取り組みとなっています。

③は一般就職した人が職場に長く勤められるようにサポートする事業です。施設では他にも温かく栄養満点な昼食提供支援・季節に応じたレクリエーション行事なども盛りだくさん。ご興味がある方はぜひご連絡下さい。

【お問合せ】はばたき職業センター

電話 047-488-8813

FAX 047-488-8384

6月の足跡

◇ 福祉教育！

八千代市社会福祉協議会の依頼を受け、6月5日(月)～6日(火)の2日間にわたり高津中学校2年生8クラスの福祉教育に協力しました。4名の講師から聞こえない障害についての講義と手話で挨拶や自分の名前を練習しました。後日、生徒一人ひとりからお手紙が届き、講師は「これは、宝物」と大変喜ばれました。また6月9日(金)には八千代台西小学校4年生2クラスの同教育に協力しました。聞えない障害は、その人を見ただけでは分かりにくいということやどのような方法で伝えることができるのか？生徒自身から答えていただきました。授業終了後には、早速手話で講師に挨拶している生徒の姿が見受けられました。



◇ 市町村身体障害者福祉会 指導者研修および福祉講座

6月20日(火)千葉県身体障害者福祉協会主催による同研修会および福祉講座が八千代市福祉センターで開催されました。(参加者 36名)

これは、習志野市と東葛地区、八千代市の各市町村福祉会合同による研修会であり、今回は八千代が開催地となりました。

内容は千葉県健康福祉部健康福祉指導課を講師に「千葉県のバリアフリーについて」その後、習志野保健所から「食中毒予防について」を学びました。研修の内容が各市町村で活かされることを期待しています。

◇ おめでとございます！

6月の初旬、全国障害者スポーツ大会千葉県代表選手の選考が行われ、本会から陸上競技砲丸投げに参加した金井隆義さん、水泳競技25mおよび50m自由形に参加した局裕三郎さんの2名が全国大会出場の切符を手に入れました……。

おめでとうございます。また全国大会での好成績を期待しています。

◇ 民生委員さんへ！

6月13日(火)民生委員障がい者部会へおじゃまし、八千代市身体障害者スポーツ大会のご案内をさせていただきました。

計報

本会支部長(旧)阿部順子様
が逝去されました。

ここに生前のご功績を偲び
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

身障相談

毎月末、金曜日を身障相談日と設定し、日々の悩みを共有できる場としています。相談員は障害当事者に担当していただいております。ぜひご活用下さい。
※現在新型コロナウイルスの感染状況から連絡は「きらめき支援センター」へ

わたしの暮らし

八千代で暮らす車イス常用者から生活体験などをシリーズで掲載します。

「ころ温まる出来事」

あなた、ここに参加してきて正解！と言ったくださった亡き先輩の言葉は、新しい生活に不安だった私に大鼓判を押してくれたように心強く、忘れられない思い出となりました。引越して生活も落ちついた頃、広報で八千代市身体障害者スポーツ大会の実行委員会の募集について知りました。初めて参加するのは緊張しましたが、居てもたってもいられずに飛び込みました。子供の頃から体育も運動

会も見学、そんな私でしたが四十代でまさかの玉入れや綱引きに参加するチャンスが到来したのです。スポーツ大会を通じた出会いは、その後の私の生活に大きな影響がありました。大会をサポートするスタッフも素晴らしい。みんなで作り上げる過程にも感動しました。初めて会う人と同じチームになり、どうバトンをつなげば良いか作戦を話したり、応援したり……とても素晴らしい行事でした。これからも楽しくフワフワするようなことに参加していきたいと思っています。

手話にふれてみよう！

手話は言語です！ あいさつ編

八千代市手話言語・障害者コミュニケーション条例
令和元年9月30日施行



両手を顔の前で交差させます。(目の前が暗くなっていく様子です。)



両手の人さし指を向かい合わせ折り曲げます。(人と人が向い合っておじぎをしている様子です。)

こんばんは
→
夜+あいさつ

きらめき支援センター

手話通訳設置事業 FAX/TEL 047-485-8822
E-mail: hukusikai.setti@kind.ocn.ne.jp



八千代市身体障害者福祉会 Facebook → 動画を選択
(動画協力：八千代市聴覚障害者協会)

福祉 あら カルト情報

★ご賛助戴いている皆様へ

毎年、企業・団体・個人などの方々から法人の重要な浄財として戴いている賛助金……今年、令和 5 年度の賛助金ご納入のご案内をさせていただきます。ご賛助の程宜しくお願い申し上げます。

- 企業 10,000円
- 団体等 5,000円
- 個人 2,000円

【賛助員の募集】

ご賛助戴ける方を随時募集しております。詳しくは、法人ホームページをご覧ください。又は、きらめき支援センターへ問い合わせください。

★同行援護従事者養成研修のご案内！

視覚障害者（児）に対する外出時の移動介護等に必要知識や技能を有する者を養成する研修です。

- 一般課程 第1回令和5年7月24日
- 第2回令和5年12月11日
- 第3回令和6年2月5日
- 応用課程 第1回令和5年8月21日
- 第2回令和6年3月11日

- 定員 20名
- 受講料 主催者へ確認ください
- 募集期間 6月19日(月)～
- 問合せ 視覚障害者総合支援センター
- TEL 043・421・5199

★盲ろう者向け相談支援事業のご案内

目と耳の両方に困難を抱えている盲ろう者に関するご悩み、なんでも、誰でも相談が受けられます。利用料は無料。本人・家族・支援者ごなたでも！

- NPO法人千葉盲ろう者友の会
- TEL/FAX 043・3310・3008
- メール soundan@chibaob.com

★令和5年度初級ハラスポーツ指導員養成講習会

ハラスポーツの普及・振興のために基本的な知識や技術を身につけた指導者の養成を図ります。

- 期間 9月2・3・16・17日
- 会場 千葉県総合スポーツセンター
- スポーツ科学センター
- 定員 30名
- 締切 7月14日(金)
- 申込 千葉県障がい者スポーツ協会
- TEL 043・253・6111
- FAX 043・253・9389

●令和5年度

八千代市身体障害者スポーツ大会

ボッチャやフライングディスクなど障害者スポーツの体験を中心に開催します。詳細が決まり次第改めて掲載します。

- 日時 9月30日(土)
- 場所 八千代市市民体育館
- 本紙の問合せ・情報提供・行事申込は、身障福祉会・きらめき支援センター
- TEL 485・1245
- FAX 485・1329



●サービスの申請について

多くのご家族・利用者から「入浴のサービスを受け湯船に浸かりたい、体力的に介助することが難しくなってきた」等の相談を受けている。

この相談を受け市役所に確認するも「入浴サービスは、訪問入浴サービス(月5回≡週1回)または、身体介護を利用しているの支援になつている、両方の利用はできない」とのことだった。その後、市役所に身体介護を利用しヘルパー2名体制で開始したいことを伝えるも「なぜ2人体制なのか、その1人を親が担うことができないのか」とのことだった。

Wから担当者へ、利用者宅への訪問を促し状況を確認して頂くことを伝え何とか身体介護2名体制で受理してもらった。今後は円滑に利用者にサービスを提供するため市と相談支援事業所の連携が必要になる。そのため相談支援専門員として「どうすればサービス提供できるのか、代替え案はないか」などと市と連携を図り一緒に考える意識を持ち業務を行えばと思った。

今月の動き

《7月》

- 19日 手話奉仕員養成講座後期(毎週)
- 20日 派遣通訳者学習会
- 24日 輝く未来会
- 25日 地域生活支援はばたき編集会議
- 26日 事業間連絡会議
- 27日 福祉センター利用団体代表者会議
- 28日 書道講座
- 29日 笑顔のつどい
- 夏休み親子手話教室
- 《8月》
- 2日 手話奉仕員養成講座後期(毎週)
- 7日 輝く未来会



集後

高校球児の夏が始まった……毎年、楽しみイベントの一つでもある……先日、我が子の高校三年生の引退試合を見に行った……そこで目にしたのは勝ち負けにこだわらず、一人ひとりがのびのびと、仲間と共に楽しくプレーしている生徒たち、後輩たちの応援する姿があった……勝敗にこだわらず、頂点を目指す姿も素晴らしいが、一つのチームとして全員野球している姿も最高であった……また、その場に一緒に居たことが何よりも感動であった……スポーツの持つ力、すばらしさを感じた……。(こたけ)

- 福祉有償運送事業 2件
- ガイドヘルパー 派遣事業 193件
- 車イス貸出事業 11件
- 手話通訳者等派遣事業 (手話48件・要約10件) 58件
- 施設見学・実習者受入 25人

福祉会実績報告

この紙ははばたき職業センターで印刷しております。印刷・複製のご利用はぜひ『はばたき職業センター』まで!!